

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

北海道 秩父別町

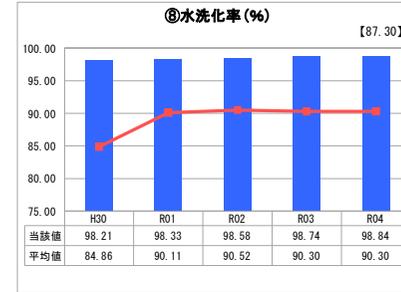
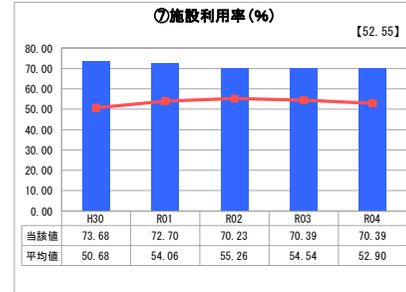
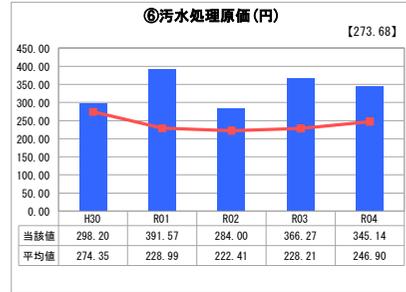
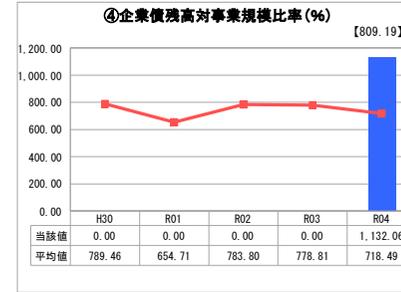
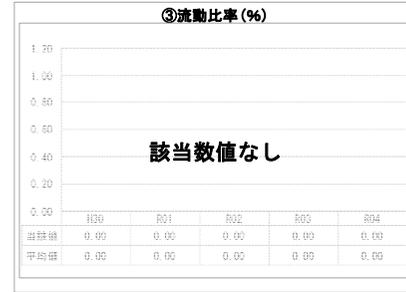
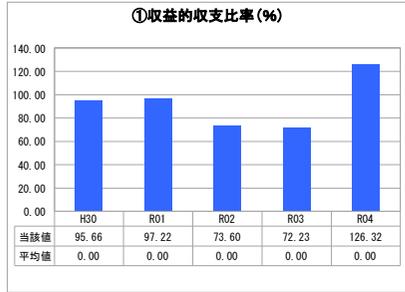
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	75.63	91.12	4,820

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,297	47.18	48.69
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,722	1.11	1,551.35

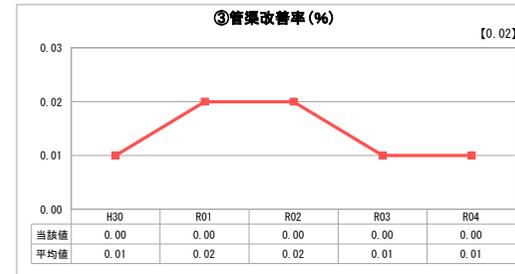
### グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、126.32%で単年度収支は黒字となりましたが、過去の推移を見ても赤字状態が続いています。

経費回収率は、類似団体より高い状況にあります。使用料金は賄えず一般会計からの繰入金等に依存している状況であります。

汚水処理原価は、類似団体より高いため、使用料収入が見込めない不明水の減少対策に引き続き取り組みます。

施設利用率と水洗化率は類似団体よりも高く、下水道施設は活用されていることを示しています。

本町の施設は、供用開始以来ほとんどの業務を民間に委託しており、維持管理費の大幅な削減は期待できない状況であります。

施設の大規模改修を令和元年度から令和6年度まで実施し、一時的に経費がかさみますが、機械類を修繕・更新することで、今後の投資を抑制・平準化してまいります。

### 2. 老朽化の状況について

供用開始から35年が経過し、各所に劣化が目立ってきています。

管路については、定期的なカメラ調査を実施し、適宜補修をしています。また、中継ポンプ場も定期的に整備・交換を行っています。

浄化センター（汚水処理施設）とコンポスト（汚泥堆肥化）施設は、高温多湿で悪条件なことから機械類の痛みが激しいため、浄化センターは大規模改修を令和元年度から令和6年度まで実施し、コンポストのための機械を令和4年度に撤去しました。

### 全体総括

施設の老朽化への対応や維持管理費を低減し、施設機能を保全するために必要な改修を進めてまいります。

さらに、一般会計からの繰入金に依存している状況にあるため、使用料金の適正化についても検討していきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。